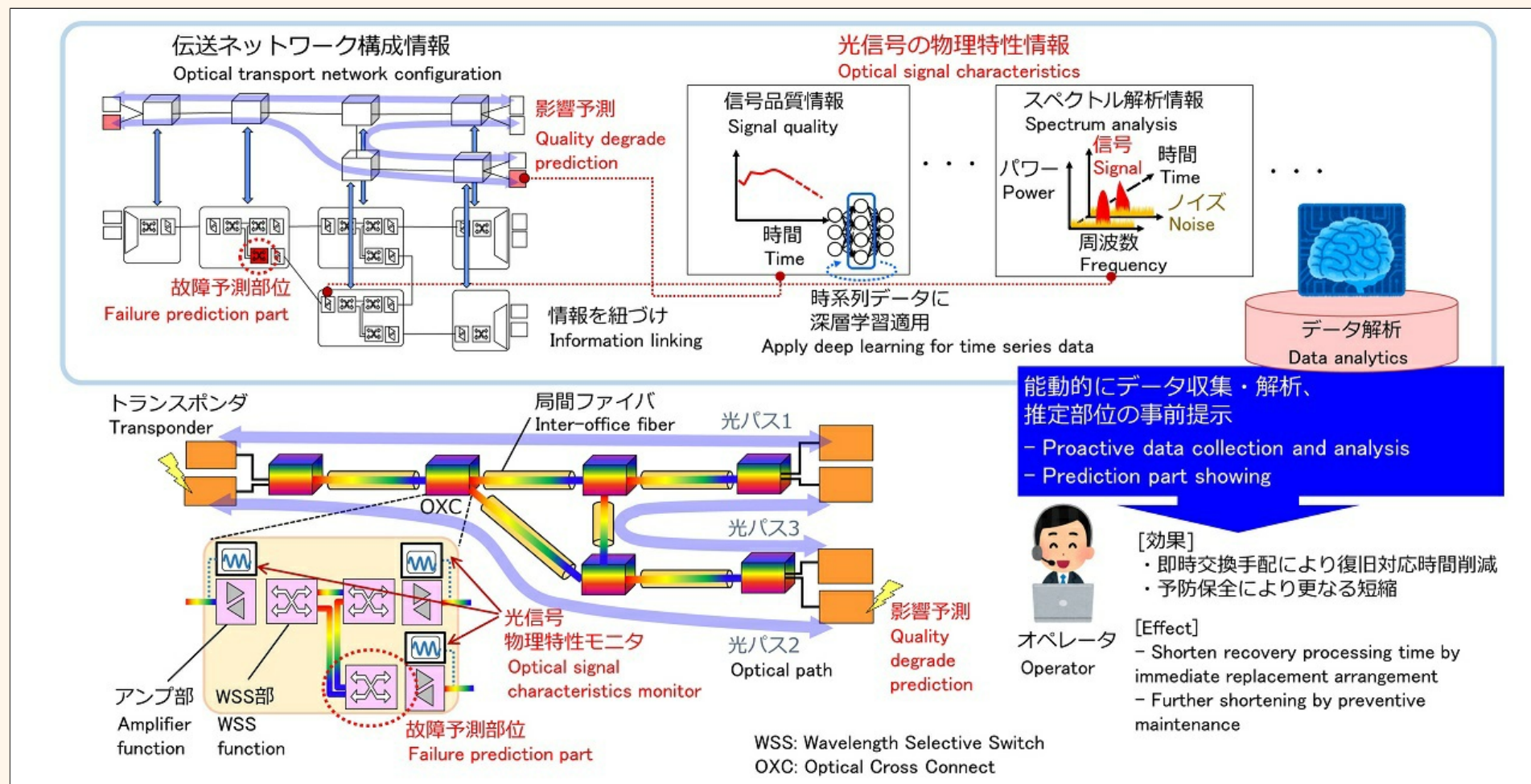




予兆から故障個所を推定し故障復旧の対応時間を削減します

概要

高速大容量化が進展し故障影響が拡大する光伝送網において、伝送装置の性能情報と中継区間の光信号の物理特性情報を収集し、ネットワーク構成情報と紐づけた自動解析から故障個所をプロアクティブに予測・提示可能とすることで、故障時の確実な即時交換や予防保全を可能とし、故障復旧の対応時間を削減します。



特徴

- 中継区間から光信号の物理特性情報を能動的に収集しネットワーク構成情報と紐づけ自動解析
- 時系列の特性情報を基に教師無し深層異常検知を活用し事前学習の運用影響少なく解析

利用シーン

- 影響するお客様の多い中継デバイス故障の確実かつ早期の復旧対応
- 切り分け困難な間欠故障の確実かつ早期の復旧対応

今後の展開

- 基本方式を基に、検証環境・フィールド環境のデータを活用し、実装方法の検討と精度・コストの見極めを行います。

出展社

日本電信電話株式会社、
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

問い合わせ先：rdforum-iic-ml@hco.ntt.co.jp